# 2026年度 第３回 総務委員会

2026年11月13日（金）　10:00～12:00

荒川大麻生公園（熊谷）　環境保全活動

【概要】

第３回総務委員会活動は、環境保全活動の一環として、荒川大麻生公園（埼玉県熊谷市）にて年明けに行われる火入れの事前準備（外来植物の除去等）を実施した。

当日は恵まれた天候のもと、総務委員会委員6名、JATA本部2名、事務局1名の計9名にご参加となった。

【当日のスケジュールおよび詳細】

● 日　時　：2026年11月13日(金)10:00～12:00　/少雨決行
● 場　所　：荒川大麻生公園(埼玉県熊谷市)
● ね ら い：荒川の河原における生物多様性の保全のため、火入れ(1月)の準備と外来植物の除去等を実施する。
● 対　象　：日本旅行業協会(JATA) 関東支部
● 対　応　：(公財)埼玉県生態系保護協会(2名)、(公財)日本生態系協会(1名)
● 最 寄 駅：秩父鉄道「ひろせ野鳥の森」駅　※熊谷駅より3駅目(6分)
● 参 加 費 用：500円(JATA環境基金寄付として)
※当日集金いたします。※例年、昼食を手配しておりますが、公園内食事施設がないこと、12時には活動終了予定のため今回は手配がありませんので、ご了承ください。

| 時間 | 場所 | 活動内容 | 対応者 |
|---|---|---|---|
| 9:50 | 駐車場(トイレ付近) | JATA参加者　現地集合 | JATA関東事務局 |
| 10:00-10:15<br>(15) | 駐車場(トイレ付近) | ■　オリエンテーション<br>・ スタッフの紹介<br>・ 荒川大麻生公園の概要説明<br>・ 本日のプログラムの流れの案内<br>・ 本日の注意事項の案内 | (進行:日本生態系協会)<br>埼玉県生態系保護協会 |
| 10:15-10:25<br>(10) | 駐車場→活動場所 | (移動) | 埼玉県生態系保護協会 |
| 10:25-11:40<br>(75) | 活動場所 | ■保全管理活動(以下を予定)<br>・ 火入れの準備<br>(テリハノイバラの除去、ハリエンジュの除去等)<br>・ 外来植物の除去(シナダレスズメガヤの伐根) | 埼玉県生態系保護協会 |
| 11:40-12:00<br>(20) | 活動場所→駐車場 | ■(戻りながら)河原草地の自然観察 | 埼玉県生態系保護協会 |
| 12:00 | 駐車場 | ・ 終わりのあいさつ(総務委員会 委員長)<br>・ 現地解散 | (進行:日本生態系協会) |

【当日の持ち物】

□飲み物　□肌が露出しない服装(例　長袖・長ズボン)　□帽子　□タオル
□(少雨時)上下セパレートのレインコートを推奨　□(あれば)長靴
□軍手(活動にはトゲのある植物の除去も含まれるため皮手袋を推奨)
※保険:㈱ジャタにて加入しております。

【参加者】９名（敬称略）

| | | |
|---|---|---|
| １.委 員 長 | 安田　正成 | 日新航空サービス㈱ |
| ２.副委員長 | 田村　俊哉 | ㈱クラブメッド |
| ３．委　員 | 渡辺　浩一 | 近畿日本ツーリスト㈱ |
| ４．委　員 | 福野　和彦 | 西武トラベル㈱ |
| ５．委　員 | 上島　有紀夫 | T-LIFEホールディングス㈱ |
| ６．委　員 | 直井　規克 | ㈱読売旅行 |
| ７．参加者 | 鈴木　俊哉 | JATA総務部 |
| ８．参加者 | 来田　武志 | JATA総務部 |
| ９．事務局 | 柴田　俊樹 | JATA関東事務局 |

【欠席者】２名（敬称略）

| | | |
|---|---|---|
| １．委　員 | 小林　知巳 | ㈱JTB |
| ２．委　員 | 中島　克欣 | ㈱阪急交通社 |

【関係機関出席者】３名

１．公益財団法人 日本生態系協会　　田邊　龍太様（全体コーディネート）
２．埼玉県生態系保護協会 花園グリーンサービス共同体　伊藤　秀晃様（公園管理運営担当）
３．埼玉県生態系保護協会 花園グリーンサービス共同体　竹花　優生様（公園管理運営担当）

■活動の背景と現地説明

・公園の成り立ち：荒川大麻生公園は1986年にオープンしました。「荒ぶる川」に由来する荒川はかつて氾濫が多い河川でしたが、護岸工事や治水対策が進み流路が安定している。（直近の氾濫は2018年）
・環境保全の目的：河原の希少種であるカワラナデシコ（絶滅危惧種）が近年減少傾向にあるため、保護対策として外来種（テリハノイバラやハリエンジュ）の除去を行う。
・火入れによる保全：草地の生態系維持のため、年1回（1月）火入れを行っており、上流側と下流側を年ごとに交互に焼くことで、昆虫や小動物の避難場所を確保している。

■作業の実施内容

・作業方法：参加者は、大型剪定ハサミで草木を刈り込む担当と、残った根元をノコギリで切断する担当でペアを組み、作業を進めた。
・安全面での気づき：テリハノイバラのトゲは非常に鋭く、通常の軍手では手を刺してしまうケースがあったため、今後は革手袋の準備が必要であることが確認されました。
・成果動：当日は気温20℃と気候にも恵まれ、汗を流しながら作業を進めるにつれて周囲の視界が広がり、参加者にとっても大きな達成感を得られる活動となった。
・活動場所からの帰路では、河原草地の自然を観察しながら解散場所まで移動した。



集合　事前説明（田邊所長）



活動場所へ移動



作業工程説明



のこぎり使用方法説明



伐採作業



伐採作業②



ナデシコの花



バッタ



作業終了後、帰路（自然観察）